



2022年2月8日

各 位

会 社 名 ヨネックス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 林田 草樹
(コード番号7906 東証第二部)
問合せ先 常務取締役 米山 修一
TEL (03) 3839-7112

特別利益（負ののれん発生益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期連結会計期間において、特別利益（負ののれん発生益）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2021年11月9日に公表した2022年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益（負ののれん発生益）の内容

当社は、2021年12月6日に開示しました「子会社の異動を伴う株式の取得に関するお知らせ」に記載のとおり、2021年12月22日付でBRIDGESTONE TECNIFIBRE CO., LTD.（同日YONEX TECNIFIBRE CO., LTD.へ商号変更）の86.8%株式を取得し連結子会社といたしました。これに伴い、2022年3月期第3四半期連結会計期間において、負ののれん発生益343百万円を特別利益として計上いたしました。なお、当該金額は暫定的に算定された金額であります。

2. 業績予想の修正について

（1）2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 71,000	百万円 5,500	百万円 5,600	百万円 4,300	円 銭 49.11
今回発表予想（B）	74,500	6,500	6,800	5,600	64.21
増減額（B-A）	3,500	1,000	1,200	1,300	
増減率（%）	4.9%	18.2%	21.4%	30.2%	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	51,554	1,032	1,823	1,102	12.59

(2) 修正の理由

中国において業績が想定を上回り好調に推移したこと、また、日本国内については、市場回復が遅れている状況は継続しているものの、慎重な見通しとしていた予想値に対しては上回って推移していることから、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。

第4四半期は、次期も見据えた積極的なマーケティング投資を行うことにより、販管費は増加の計画としておりますが、売上増に伴う売上総利益の増加、上記に記載のとおり特別利益として負ののれん発生益を計上することにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回発表の業績予想を上回る見通しとしております。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

以上